

Q 子どもを取り巻く諸問題を解決するため、子ども基本法が施行され、国は、様々な施策を打ち出しているが、思いやりと真心を大切にされた、渋沢栄一翁生誕地にふさわしい、子ども条例を制定し、基本理念を明らかにして地域全体で取り組むべきと思うが考えを聞きたい。

A 子どもの貧困や児童虐待、社会的孤立など、子どもをめぐる環境が悪化し、社会生活を営む上で困難を有する子どもたちの問題が深刻な状況に

Q 特に冬の朝は、カーブミラーが曇って危険だが対策について伺う。

A 雨などの水滴が玉にならず、濡れ広がることで曇りなどを軽減する、コーティングミラーを試験的に設置して、検証を行っていく。



清水 健一



映像はこちらから

A 人身事故が384件、死者数3人である

Q 令和5年の交通事故発生状況を聞きたい。



ある中、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもたちの健やかな成長を社会全体で後押ししていくため、子ども施策の基本理念を市全体で共有していく事は重要な意味を持つ事から、条例の制定を基本に渋沢栄一翁の生誕地である深谷らしい基本理念の在り方と共に研究していく。

Q 子ども基本法では、子どもに関する施策を策定する場合、子どもをはじめ、養育する者及び関係者の意見を反映するように求めているが、どの様に取り入れていくのか伺う。

A アンケート調査や若者による意見交換会、パブリックコメントを実施し、広く意見を募集していく。



市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下QRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

- 加藤 利江**.....P4
 - ・新一万円札発行にむけて
 - ・みかんの花咲く丘
 - ・飼料等価格高騰対策
 - ・防犯対策
- 清水 健一**.....P5
 - ・市民の交通安全
 - ・こどもの幸せ
- 柿澤 祐介**.....P5
 - ・子ども支援
 - ・災害対策
- 永田 勝彦**.....P6
 - ・空き家対策
 - ・人口増対策
- 山出 秀明**.....P6
 - ・ネギーのポイントバックキャンペーン
 - ・深谷駅周辺の公園計画
- 岡 仁**.....P7
 - ・「くるりん」バス利用
 - ・中学校の部活
- 福島 秀樹**.....P7
 - ・深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)
 - ・交通施策
- 田口 英夫**.....P8
 - ・深谷市の文化振興
- 田島 秀興**.....P8
 - ・市のPR
 - ・婚活応援
- 坂本 博**.....P9
 - ・本市における高齢者
 - ・深谷駅市民ギャラリー
- 繁 由香**.....P9
 - ・「産後ケア」事業
- 五間 くみ子**.....P10
 - ・地域包括ケアシステムの構築に向けて
 - ・認知症対策
 - ・投票所の環境改善
- 八須 由憲**.....P10
 - ・渋沢栄一翁の顕彰と地域の活性化
 - ・公立中学校における「部活動地域移行」
- 小泉 誠**.....P11
 - ・深谷市の移住定住促進
- 角田 義徳**.....P11
 - ・高齢者福祉政策
 - ・地方創生
 - ・ICTを活用した行政参加
- 村川 徳浩**.....P12
 - ・花園IC拠点整備プロジェクト
 - ・深谷市幼稚園・こども館複合施設建設
 - ・コミュニティバス「くるりん」
- 湯本 哲昭**.....P12
 - ・公民館管理運営
 - ・小中学校への新聞配備
- 佐久間 奈々**.....P13
 - ・生活保護受給者の医療扶助
 - ・公共施設適正配置計画
- 鈴木 三男**.....P13
 - ・学校費用の公会計化
 - ・子育て支援
 - ・通電火災
- 小林 真**.....P14
 - ・小規模学校地域のよりよい教育環境
 - ・食社会、リサイクルの充実
 - ・農業持続と農業振興地域の再考
- 高田 博之**.....P14
 - ・道路の新設
 - ・道路の整備

「市政のここが聞きたい」の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております

Q 第2期子ども・子育て支援事業計画、着実な成果は出ているのか。

A 概ね計画の範囲内で推移している。

Q 「子どもの居場所づくり」の取り組みとして、市として協力頂いている団体・企業・個人との連携は取れているのか。

A 「子どもの居場所づくり」に取り組む団体の活動を側面から支援している。

Q 貧困家庭を救う支援策として、経済支援以外の政策は取り組んでいるのか。

A 生活支援として子ども家庭総合支援拠点の設置や養育費個別相談会の実施、就労支援として母子家庭等自立支援事業の実施、教育支援として「子どもの学習・生活支援事業未来応援教室(ばるスタ)」等の事業を実施している。関係各課と連携して子どもの貧困対策に取り組んでいく。



柿澤 祐介



映像はこちらから

A 令和6年2月に子どもの生活実態調査を実施する

Q 子どもの貧困対策について



る状況である。

●災害時における情報配信について

Q 深谷コミュニティエフエムとの災害時の連携について。

A 包括連携協定に基づき、市が発信する災害情報の配信にご協力頂く事になっている。また令和4年度からは深谷コミュニティエフエムと深谷青年会議所、社会福祉協議会の3者と定期的に情報交換を行っている。

Q 防災ラジオについて。

A 情報伝達手段の一つとして有効なものであると考えている。

A 難しいが、今後も誘致の取組を行っていく

Q 新一万円札発行に向けてラジオ体操の誘致としては

Q NHKのラジオ体操の中継を市内で行うよう働きかけをして頂きたい。

A 市としてもラジオ体操の巡回放送誘致は新札発行に向けた市内の機運醸成の取組として、絶好の機会になると考えている。しかしながら令和6年のラジオ体操の巡回放送については、全て開催会場が決定しており、申し込みは終了しているとのことである。新札発行年度におけるラジオ体操の誘致は難しいが、今後も渋沢栄一や深谷市を広くPRするため、誘致の取組を行っていく。

Q 渋沢国際学園を復活させる事は出来ないか。

A 「中の家」敷地で開校した渋沢国際学園は民間の学校で、閉校後に土地と建物は市に帰属した。主屋は改修等工事を経て令和5年8月から一般公開している。敷地内の西側施



加藤 利江



映像はこちらから



設で市が運営する日本語学校は考えていない。

●みかんの花咲く丘について

Q 目立たない場所に碑があるだけではとてももったいないと思うが。

A 今後広く周知するための方法を研究していく。

●飼料等価格高騰対策について

Q 今後の農業経営支援方針について、詳しくお尋ねしたい。

A 先日、国の補正予算が成立した為、この交付金の活用を含め、支援の在り方を検討していく。